

漁海況月報

No. 12

平成 17 年 12 月 1 日

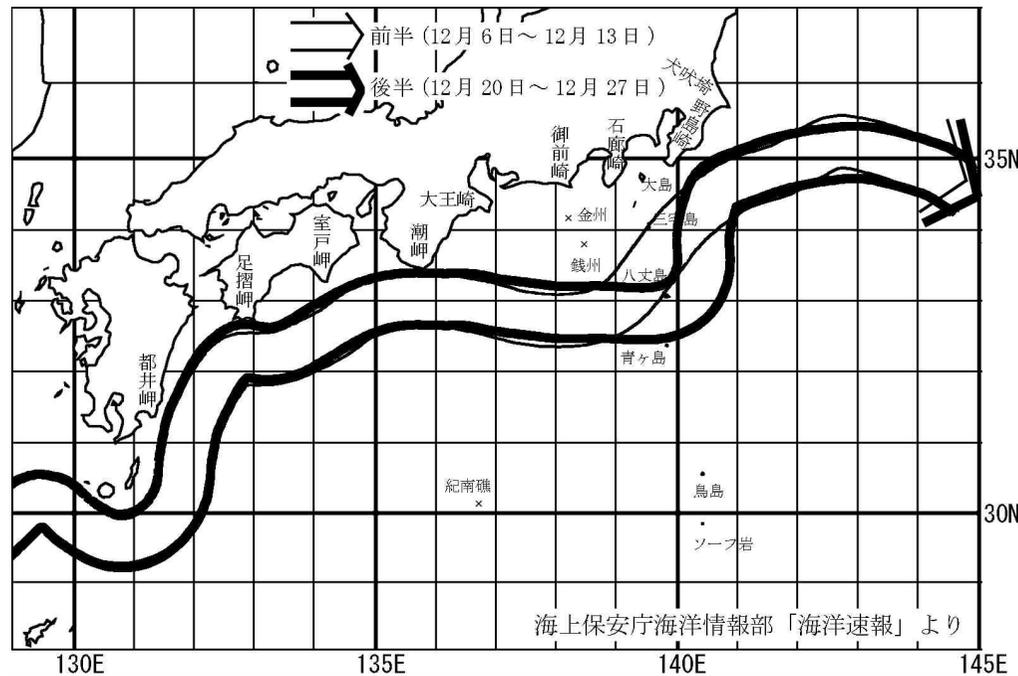
～12 月 31 日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



【黒潮流路】

黒潮は、九州から潮岬にかけては前半、後半ともに接岸傾向で流れた。潮岬以東では、前半には遠州灘沖 33° N を東進し、石廊崎沖から北東に向かい三宅島付近を通り房総半島に沿って流れた。後半には遠州灘沖の冷水渦が伊豆諸島海域へ移動したため、黒潮は遠州灘沖から八丈島付近まで東進後、伊豆諸島の東側 140.5° E 付近を北上し、房総半島に沿って流れた。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 14～19 台、駿河湾東部では 13～19 台、駿河湾西部では 10～19 台で経過した。上旬は平年よりもやや高めであったが、中旬以降は黒潮北上流路の東進により、伊豆諸島西側から駿河湾沖に低水温が分布し、沿岸への暖水波及もなく平年よりも低めとなった。

【竿釣近海カツオ】

12 月の県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 1 トンで前年同期の 3% であった。魚価は 327 円 / kg で、前年同期を大幅に下回った。

中型竿釣船の記録 (QRY) の記録によれば、32° N、140° E 付近でキメジに混じりチン、極小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
17 年 12 月上旬	1	2	0.6	327
中 旬	0	0	-	-
下 旬	0	0	-	-
17 年 12 月計	1	2	0.6	327
16 年 12 月計	32	16	2.0	749
15 年 12 月計	17	6	2.9	374

【定置網】

平成 17 年 12 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 227 トンであった。1 漁場当たり水揚量 28.4 トンは前年 27.0 トンの 1.1 倍で、平年値（昭和 57～平成 16 年平均値）34.9 トンの 81.4% であった。

魚種別にみると、サバ類 111.0 トン（前年の 1.7 倍、平年の 2.8 倍）スルメイカ 32.8 トン（前年の 3.3 倍、平年の 1.5 倍）マアジ 32.4 トン（前年の 88%、平年の 2.0 倍）マルソウダ 8.2 トン（前年の 6.1 倍、平年の 1.1 倍）ウルメイワシ 5.9 トン（前年の 4.2 倍、平年の 2.9 倍）の順に多かった。

サバ類は赤石、北川、川奈を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであった。尾叉長 27cm にモードを持つ当歳魚と 31～32cm にモードを持つ 1 歳魚がみられ、1 歳魚が中心であった。マサバは、尾叉長の中心が 31～33cm の 1 歳魚が中心であった。スルメイカは北川、川奈を中心に入網し、外套背長のモードは 25cm であった。マアジは赤石、谷津、北川を中心に入網し、尾叉長の中心は 18～19cm にみられ、当歳魚が中心であった。マルソウダは北川、赤石を中心に入網し、尾叉長のモードは 30cm にみられた。ウルメイワシは古網、北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは 16～16.5cm と 18.5cm にみられた。

2005 年 12 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	18.4	18.8	18.4	17.8	18.5	18.4	15.1
	1.0	0.8	1.1	-0.2	0.9	1.5	-0.6
中 旬	16.2	16.2	16.8	15.4	15.4	16.1	12.6
	-0.5	-0.9	0.4	-1.4	-1.2	0.1	-2.0
下 旬	14.8	14.8	14.8	13.7	14.3	14.3	10.4
	-0.8	-1.6	-0.9	-2.2	-1.4	-0.7	-3.3
月平均	16.4	16.7	16.8	15.6	16.2	16.2	12.6
	-0.1	-0.4	0.3	-1.3	-0.3	0.3	-2.0

漁場別水揚量は、サバ類、スルメイカ、マルソウダの漁獲が多かった北川（52トン）、サバ類、マアジの漁獲が多かった赤石（49トン）、サバ類、スルメイカ、マアジの漁獲が多かった川奈（46トン）の順であった。

[サバ棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は86トンですべてゴマサバであった。漁場は三宅島近海に形成され、水揚げされたゴマサバは尾叉長26～30cmの大きさの2004年級と思われるものが大半を占めたが、30cmを超えるものも前月より多く混獲された。1kg当りの平均単価は35円と先月（24円/kg）を若干上回ったものの引続き安価であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	86	2	4	21.5	三宅
12月 中旬	-	-	-	-	
下旬	-	-	-	-	
計	86	2	4	21.5	- - - - -
平成16年12月	647	6	19	34.1	三宅、新島
平成15年12月	162	3	15	10.8	三宅

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で38kg、遠州灘で161kgだった。主要6港平均では85kgと前年同期の132%、平年同期（過去5か年平均：95kg）の90%と、平年を若干下回った。12月の総水揚量は44.5トンと、前年同期の62%、平年同期（84.6トン）の53%に当り、平年を大きく下回った。平均単価は1,018円/kgと平年同期（1,097円/kg）並みだった。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.7	7	22	121	733
舞 阪	17.9	10	57	315	549
福 田	6.1	3	56	109	842
御前崎	5.4	7	65	83	1,268
吉 田	5.5	8	142	39	1,316
静 岡	6.9	9	180	38	2,074
平成17年12月計	44.5	-	522	85	1,018
平成16年12月計	71.7	-	1,107	65	1,850
平成15年12月計	80.7	-	863	93	911

[まき網]

小川港では、マイワシは65kg水揚げされ、平年同期（過去5か年平均：320.9トン）と比べ極めて低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

沼津港では、マイワシは127kg水揚げされ、平年同期（425.9トン）と比べ極めて低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げされなかった。

[サクラエビ船曳網]

12月の出漁日数は5日で、漁獲量は180トン、漁場は主に三保～焼津沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、33mmにモードを持つ当歳エビが主体であった。

平成17年秋漁は12月27日が最終出漁日となり、出漁日数は14日（前年秋漁は17日）、漁獲量は457トン（同301トン）であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成17年12月 上旬	44	2	平均 369	三保～焼津沖
中旬	74	2	平均 614	三保～焼津沖
下旬	62	1	平均 1,037	三保～焼津沖
平成17年12月 計	180	5	平均 601	-
平成16年12月 計	133	7	平均 316	焼津～相良沖
平成15年12月 計	282	8	平均 588	用宗～大井川沖

[調査船の動向]

富 士 丸

～12月5日 南方カツオ調査(5日間)

駿 河 丸

12月1～2日 地先定線観測（駿河湾・遠州灘・伊豆）(2日間)

12月9日 駿河湾内にて公共用水域水質調査(1日間)

12月15～16日 久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)

12月19～20日 駿河湾内にてサクラエビ IKMT 調査(2日間)

12月21日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(1日間)